

けんしん職員ON&OFF

①職員名 ②所属部 ③仕事の心得を漢字一文字でいうと？ ④オフの顔

大野同友会



①渚 駿之介 ②野津支店 ③「縁」様々な方との出会いを大事にして仕事に取り組んでいます。
④大野川カヌー教室に講師として参加した写真です。

国東同友会



①加藤 淳一郎 ②国東支店 ③「会」一期一会の精神でお客様と誠意をこめて接します。
④文殊仙寺の祈禱に参加した写真です。

竹田同友会



①石津 琢也 ②竹田支店 ③「錬」一生百錬の精神で繰り返し鍛えて、お客様のご期待に応えます。
④日田市災害ボランティアに参加した写真です。

総合企画部



①岩尾 光朗 ②総合企画部 ③「貫」初志貫徹の精神で最後まで妥協せずにやり遂げます。
④大分トリニータの観戦に参加した写真です。

けんしん野球部 & 同・友・know?

けんしん野球部では、少年野球教室などの地域貢献活動をおこなっています。



別府市の「亀川中央スポーツ少年団」にて少年野球教室を行いました。ウォーミングアップからキャッチボール、ノック、バットティング、紅白戦を行い子ども達の笑顔と元気に触れ、野球の楽しさと挨拶・礼儀の大切さを改めて感じることができました。野球を通じて行える地域貢献活動を今後も継続していきます。

新しい時代への船出



1 特集/TOP INTERVIEW

株式会社 ベストライフ
有限会社 アプロッシュ
有限会社 藤野屋商店

4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力

5 けんしん同友会企業紹介

7 けんしん職員ON&OFF

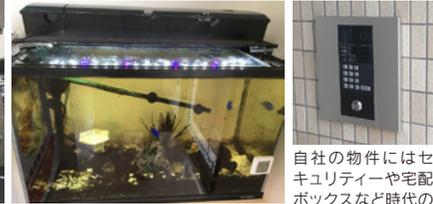
きめ細かいサービス、アットホームな雰囲気、お客様へ常にベストな提案を



本社屋の看板には『ベすとら君』というマスコットキャラクター



家族経営の『ベストライフ』アットホームな雰囲気と安心感がある



自社の物件にはセキュリティや宅配ボックスなど時代のニーズにあった装備を整えている

もちろん、今では普通になっているネット広告にもいち早く着手した。

また現在自社で管理している物件には、オートロックや防犯カメラなどのセキュリティ設備を搭載し、宅配ボックスなどの設置なども標準的に装備しているものが多い。時代のニーズに合わせ、また将来を見越しての設置だとのこと。今後は、自社物件に関わらず、管理物件のオーナーさんへの提案も含め、自社物件での評価をフィードバックしていきたいそうだ。

また、動物が大好きな川野さんはペット飼育可能な物件にも力を入れている。その動物好きは広く知られているらしく、今の事務所への移転祝いには水槽をプレゼントされたほど。「自宅には犬や猫、兔などがいますが、事務所には熱帯魚とインコとハムスターがいます。ペットを通じてお客さんといコミュニケーションがはかれています。特に子どもは喜びますよね。窓口業務をしている次女は元保育士なので、動物と夢中に遊ぶお子さんの相手をしている時

もありますよ。

『ベストライフ』の窓口業務を支えるのは、奥様と二人の娘さんたち。次女の瞳さんは、保育士の資格を持ち、長女の愛さんは宅建免許とともに行政書士の免許も持っている才女。アットホームで痒い所に手が届くサービスは、家族全員のコミュニケーションのおかげなのだろう。家族円満でアットホームな不動産会社が提案する物件は、安心して過ごせて家族円満になる気がしませんか？不動産のことはお考えの方は一度来店してみるのをお勧めします。川野さんをはじめスタッフの皆さんが、あなたにとって本当に“ベスト”なものを提案してくれるでしょう。



休日には県外にまで観劇やコンサートに出向くという川野忠文さん

大野ブロック同友会

【不動産業】

株式会社 **ベストライフ**
代表取締役 **川野 忠文氏**

DATA

〒豊後大野市三重町赤嶺1920番地1
☎ 0974-22-0302
🕒 9:00~18:00
📞 水曜 ☑️あり
<http://bestlife-mie.co.jp/>

“モノ”ではなく“コト”を社員一丸となって提案していく



「我々はモノではなく、一生の思い出という“コト”を売っていく」と語る植田良文さん

国東ブロック同友会

【結婚式場】

有限会社 **アプロッシュ**
代表取締役 **植田 良文氏**

DATA

〒別府市大字平道1530-2
☎ 0977-27-7771
🕒 10:00~20:00
📞 火曜 ☑️あり
<http://www.approche-2002.com/>

別府湾を一望する高台にある『アプロッシュ』。結婚式場として15年前にオープンしたが、オープン当初は今では普通になっている“ゲストハウス形式”の結婚式場として大分県でも先駆けの存在であった。

今までの古い形式の結婚式に囚われない、自由な発想でゲストをもてなし、出席者全員がワイワイと盛り上がる、そんな式が今の主流ですがオープン当初は受け入れられないこともあったとか。「当時は“ゲストハウス”という形式があまり浸透していなかったため、新郎新婦本人よりも、両家の親御さんからのキャンセルが多かったですね」と代表取締役の植田良文さん。

そんな時期も苦労とは思わなかったのは、とにかくスタッフ一丸となって一生懸命だったからと植田さんは言う。「生涯で一番光り輝く結婚式ですから、結婚するお二人、ご両家の皆さん、出席する皆さんすべての人が満足して頂けるよう、とにかく心を配って手を尽くす。スタッフ一人ひとりにそんな意識が自然と芽生えているんです。スタッフ全員の頑張りが今に繋がっているのだと思います。そして我々の商品は結婚式当日そのものですから、そこにすべての想いを注いでいます。モノよりコトを提供しているのです」。

スタッフ一丸となって営業してきた『アプロッシュ』は、5年ほど前に西大分

の海が見える絶好のロケーションに姉妹店となる『ブエナスタ』をオープン。こちらもスタッフの頑張りによって、順調に売り上げを伸ばしているそう。結婚式以外にも、会社の周年レセプションの会場として提供するなど、新しい活用方法を開拓している。

今では、それぞれの式場で採用したスタッフを入れ替え、人的交流と新人の育成にも力を入れている。「モノよりコトを提供していくわけですから、それぞれの式場で様々なコトを経験して欲しいです。それが次のお客様への提案に繋がって、一生の思い出を提供できればと思います」「人」に心を寄せる植田さんは、手が空いて入れれば率先して式場の草刈りなどもしているそう。自らが汗をかき、式場に来られるお客さんに美しい庭でくつろいでもらうために、代表のこんな姿を見ているからこそ、スタッフが一丸となって頑張れるのだろう。

流行に左右されるプライダル業界。今後の展望をお聞きすると、「結婚するお二人には、本来の意味の結婚というものを理解していただきたいと思っています。その上で最高の思い出を提供したいと思っています。式や披露宴は流行に左右されますが、結婚というものは昔も今も変わっていませんからね。両家を結びつけ、永遠の愛を誓うもの

ですから」変わるものと変わらないもの。本質は変えず、彩りを加えていく、目を輝かせる植田さんの挑戦は、まだまだ続いていくようだ。



『ブエナスタ』の披露宴会場もロケーション抜群



まるで海の上で永遠の愛を誓うような『ブエナスタ』のチャペル



別府湾を望み、高崎山まで見えるロケーション抜群な『アプロッシュ』のチャペル



美しい庭も商品の一部ということで、植田良文さん自ら剪定を行うこともある『アプロッシュ』のガーデン

もともと、岡藩中川公の御用商人として和ろうそくの製造と商いを始めたのが『藤野屋』の始まり。なんと、豊臣秀吉が天下を統一していた1594年(文禄3年)、安土桃山時代である。その後、明治から精米業を始め、戦後は家畜用配合飼料や養鶏業、養豚業と時代の移り変わりに応じて業種の形を変えながらも『藤野屋商店』の屋号を守ってきた。「400年続けてこられたのは、家族や従業員、地域住民や取引先様、そして何より先祖のおかげなのです」と取締役会長の甲斐正章さん。

今年の6月から社長職を息子さんの昇一郎さんに譲り、会長職に就いた。現在ではシンガポールに生食用の鶏卵を輸出するなど、八つの事業を展開するまでに発展した。

「2013年にシンガポールで開催された“大分県銘産品フェア”の商談会に参加したのですが、そこで新鮮な卵に商機があることを確信したのです。帰国後すぐに農林水産省に出向いて輸出のためのライセンスを取る申請を行っ

たのですが…」輸出において最もネックになるのが、サルモネラフリーであること。消毒体制を整え、農場の周囲に防疫用フェンスを張り巡らせて野生動物の侵入を防ぎ、農場内の拭き取り検査を2ヶ月に1回実施するなど、徹底的にサルモネラ菌対策を行いました。しかし、認可が下りたのは、輸出を決意して3年もの歳月が経ったこと。このライセンスは九州では唯一、全国でも5社しか成し得ていません。諦めず実現にこじつけたことについては「少子高齢化で需要が先細りする中、打って出る手を考えないと地方で養鶏をしているだけでは生き残れない。新しいことに挑戦しなければ、という強い思いだけでした」と甲斐さん。この話題は全国的にも取り上げられ、新たな取引にも繋がった。「商売をしていけば良いこともあれば、悪いこともあります。養鶏や養豚をやっている以上、病気になってしまうえば全てがダメになってしまいます。しかし、シンガポールの件もそうですが、これまで多くの人たちに助け

られ、いろんな人たちのご縁をいただき今があります。どんなに感謝しても、しきれないくらいですよ」。

今後は養豚場や養鶏場のさらなる拡大を計画しているそうで、連日息子さんと代表取締役の甲斐昇一郎さんと相談している。新社長に対して求めることは?という問いに対して「社にも示しているのですが、“誠実、謙譲、感謝の念を怠らず”という想いは小さい時から刷り込んでいるので十分理解してくれています。田舎の小さい会社ですから、自分たちの身の丈にあった経営をしてきていますし、ウェブの活用なんかも積極的に取り組んでもらっています。時代のニーズに合った事業を展開してもらって“藤野屋”の屋号だけは無くさないでほしい、それだけです」と甲斐さん。

関わる全ての人に感謝の念を忘れず、誠実に生きてきたからこそ未来に託す言葉の重みを感じた。竹田市から世界へ勝負する『藤野屋商店』の今後が楽しみだ。

“おかげさま”の精神で400年 変わらぬことと新たな挑戦を経て続く未来



農業研修生として外国人17名が働く。みんな明るく元気でテキパキと作業をこなしている



大分市内と竹田市内に卵の直売所を設置し、直接消費者に新鮮な卵を届けている



養豚場拡大に向けて打ち合わせをする甲斐会長と昇一郎社長

竹田ブロック同友会

[飼料鶏卵販売業]

有限会社 藤野屋商店
取締役会長 甲斐 正章氏

DATA

〒 竹田市大字菅生953
☎ 0974-65-2321
🕒 9:00~18:00
📅 日曜、祝日 📍あり
<http://www.fujinoyaweb.co.jp/>



毎朝仏壇へ手を合わせ、月一回はお墓まいりをし先祖の供養を欠かさない甲斐正章さん



技術力の高さは、一つの石材から運んだ石輪を見れば一目瞭然

DATA

[墓石等製造販売業]

株式会社 三浦石材

〒 竹田市久住町大字栢木6930

☎ 0974-77-2327

🕒 8:00~17:00

📅 土曜、日曜、祝日

📍あり

<http://miura-sekizai.com/>

損して得を取れる精神で 確かな技術を次の世代へ

株式会社 三浦石材
取締役会長 三浦 克己さん

中学を卒業後、石材店を営む父の元で職人の道を歩み始めた取締役会長の三浦克己さん。その後60年間、日々技術を磨き続け、今では大分県石材技能士会の会長を務めている。「まずは職人に弟子入りし、見て覚える、徹底して基礎を覚える、道具の手入れの仕方を覚える、毎日必死でした。昔は今のよう機械で削り出すわけではなく、ノミと金槌だけでしたから」と語る三浦さん。負けず嫌いな性格で、やりかけたらコト追求する気性が職人としての成長に拍車をかけたのだろう。わずか2年ほどでほとんどの技能を習得し、熊本まで修行に出かけたそうだ。

「若い時にいろんな経験ができました。

お客さんの想像以上のものを提供する事は常に考えています。“損して得を取れ”というのは、自分のモットーとしていつも思っていますから、いい仕事を早く。そのために常に技術を磨く。その繰り返しですよ」。

そんな父親の姿を見て育った息子さんは今では社長として、そしてお孫さんまで職人として同じ職場で働いている。職人の世界では後継者不足が叫ばれている現在、非常に珍しい3世代の職人一族だ。「若い人たちにもキチンと基礎を知ってもらい、技術を伝え、職人にしかわからない感覚や感性を理解してほしいですね」石と向き合い、自分の内面を見つめ、石を磨き、技術を磨く。御影石のように固い意志で、今もなお技能を磨き続ける三浦さんは、未来を見据えて明るい笑顔で話してくれた。今後の『三浦石材』の活躍が楽しみである。

キラリ新風力 ふわり爽風力

New Wind & Fresh Power

地域に密着し、 緒方町を全世界に発信する 観光拠点としての道の駅を目指す

大分県で初めて「道の駅」に認定された『道の駅原尻の滝』。この歴史ある道の駅で今年の4月に駅長に任命された吉野純代さん。就任当初はとまどうことばかりで「何をどういう風に進めていけばいいのかもわからなかったのですが、本当に社員や地域の人たちに助けられています」。

就任直後の大イベント「チューリップフェスタ」の準備では、来場するお客さんのためにと、地味な会場の草刈りを率先して毎日していたそう。そんな姿に触発されたからか、地域の住民や農産物を運んできた農家の方々、そして社員みんなが自主的に手伝ってくれ準備は順調に整っていった。

「その時実感したんです。一人でできることは小さいけど、みんなの力を合わせれば何でもできるんじゃないかって」そんなエピソードを話してくれながらも、エコパークやジオパークに認定された地元緒方町の今後の発展に力を注いでいきたいと熱意を語ってくれた。「田舎だからって卑下することのない自然と美味しい水、旬の作物と人々の温もりを感じられるのが緒方のいい所なのです。昔ながらの地域の行事を守っているからエコパークに認定されたんだと思います。豊後大野市の観光拠点として、地域の人と観光客を結ぶハブの役割をしっかりと果たして、自然に満ちた原尻の滝を全世界に発信していきたいですね」そう語る吉野さんの瞳は、滝壺にきらめく飛沫のようにキラキラと輝いていた。

道の駅原尻の滝
駅長 吉野 純代さん

DATA

[小売業]

道の駅 原尻の滝

〒 豊後大野市緒方町原尻936-1

☎ 0974-42-4140

🕒 9:30~17:30 📅 12/31、1/1

📍あり <http://harajirinotaki.grupo.jp/>



平日でも新鮮な野菜を求めて賑わう店内



小売業・農産加工

うえすと

多くの人たちに愛される 懐かしく優しい味わいのお饅頭



一番人気の「酒まんじゅう」

旧大野町の西側に位置することから命名された『うえすと』の主力商品は、昔ながらのおやつ。米麴を使用した「酒まんじゅう」。その他よもぎ餅、おはぎやおこわなどを製造している。10月～5月までの季節限定で作られる「きんつばロール」300円は、豊後大野市産の芋を使用した逸品で、道の駅や大分市内の川の駅、トキハ本店で取り扱っており、常に品切れほどの人気商品。そのほか『うえすと』の商品は、昔ながらの素朴な味が多くの人に愛され、豊後大野市外からの予約注文も受け付けてくれるそうだ。ぜひ一度ご賞味を。



〒豊後大野市大野町屋原194-1
☎0974-34-2555
営業 10:00～17:00
休 火曜午後、水曜午前
Pあり

コンビニ・弁当惣菜販売

ベストマート国東店

国東産の地粉を使ったかりんとう 新しい名物はお母さんの愛から生まれる



人気のかりんとうは黒糖とゴマの2種類

店内には、全て手作りしているお弁当や惣菜が並ぶ『ベストマート』。この人気商品は「みよちゃんのようなかりんとう」380円だ。素朴な味わいは、昔お母さんが手作りしてくれたかりんとうを思い出し、一度食べたなら止まらない美味しさ。道の駅やネット販売もしており、県内外にファンがいるのも頷ける。また、以前はお彼岸の時にしか販売していなかった「おはぎ」もお客さまから好評で問い合わせも多くなったため今では通年で販売している。これも厨房を切り盛りする吉崎三代子さんの手によるもの。家族のために作っていた手作りおやつは、愛情というスパイスが効いた逸品に仕上がっている。是非一度ご賞味を。



〒国東市国東町鶴川1823-1
☎0978-72-0037
営業 6:00～21:00
休 正月
Pあり

瓦施工事業

株式会社野津セメント工業

技術力の高さと地震に強い施工方法で 安心の瓦屋さん



デザインも豊富な洋風瓦も揃う

屋根瓦専門の施工業者として確かな技術、施工後のアフターメンテナンスにも力を入れている『野津セメント工業』。「地震が起こるたびに、屋根瓦が倒壊しているテレビの映像などを見て、屋根瓦への不安が高まる声を聞きますが、今の瓦は軽くて耐久性に優れていますし、地震にも強い施工方法に変わっているんです」と社長の大嶋陸廣さん。技術力の高さ、丁寧な施工、安心のアフターメンテナンスで信頼を得てきた。遮音性、耐久性に優れた日本の気候風土にぴったりの屋根瓦。洋風でモダンなものもあるのでお気軽にお問い合わせを。



〒日杵市野津町大字藤小野541
☎0974-32-4641
営業 8:00～17:00
休 日曜
Pあり

製造業

株式会社荻プラスチック工業

確かな技術力とクオリティの高い品質が自慢の プラスチック加工工場



多くの射出成形機が並ぶ工場内

荻町の田園地帯に工場を構える『荻プラスチック工業』。昭和47年の創業以来、家電製品や通信機器、複合機器のプラスチック部品の成形加工を続けている。この特徴は小ロットでも対応可能で、多品種のプラスチック製品を作れるということ。これは南九州では珍しく、取引先からも絶大な信頼を得ている。また、成形加工だけでなく印刷・転写などの二次加工から組み立てまで一貫した生産を行えるのも信頼される秘訣なのかもしれない。未来を見据えて、常にQCD(品質、コスト、納期)向上に邁進する企業だ。



〒竹田市荻町馬場1176
☎0974-68-2194
営業 8:00～17:00
休 土曜、日曜、祝日
Pあり

製造業

西田石材 有限会社

伝統的和型墓石から最新のデザイン墓石 まで手がける石材店



墓石の設計・施工まで一貫して行う

安岐町の田園が広がる土地に位置し、先代から50年続く石材店。取り扱う石は全国各地から仕入れを行い、品質も自信を持って提供できるものばかり。近隣のお寺から檀家を紹介されたり、以前施工したお客様の親戚を紹介していただいたりと、地域に密着した老舗店ならではの繋がりは、今までの実績とお客さまへの提案力、技術力があるから。またその技術力の高さは、昨年の熊本地震で、施工した墓石が一つも倒壊していなかったというところからも伺える。墓石の新築はもちろん、修理やリフォームも行なっているので、是非お問い合わせを。



〒国東市安岐町掛樋222-1
☎0978-67-3550
営業 8:00～17:00
休 日曜
Pあり

旅館業

御宿 友喜美荘

山あいの静寂空間 鳥の声をBGMに創作会席が味わえる旅館



全客室から館主が作り上げた庭の景色が楽しめる

長湯温泉街から少し離れた山あいに佇む『友喜美荘』。「わざわざ来られた皆さんに喜んでいただきたい」という想いが込められた屋号なんだとか。鳥の声と風の音など自然が奏でるBGMが、非日常空間へいざなってくれる。また、旬の素材を使って丁寧に作り上げた創作会席料理が魅力で、県外からのリピーターも多い。自家栽培の野菜畑もあり、その季節にしか食べられない新鮮な朝採り野菜は人気の一つ。もちろん、敷地内から湧き出る温泉も大人気。料金は、一泊二食で13,400円～、14時～19時の間は立寄り湯としても利用可能(500円)。露天風呂から眺める満天の星空を、体感して見ませんか？



〒竹田市直入町
大字長湯7497-1
☎0974-75-3000
営業 チェックイン15:00、
チェックアウト10:00
休 不定休
Pあり